

『北大水産総合基盤システム科学分野第2回シンポジウム』 『平成19年度第2回講演会』などの開催

1. はじめに

北方海域技術研究会では、2007年（平成19年）10月17日に『北海道大学大学院水産科学研究院海洋生物資源科学部門水産総合基盤システム科学分野第2回シンポジウム』、2007年（平成19年）11月22日に『平成19年度第2回講演会』、2007年（平成19年）12月3日に『NPO法人水産物トレーサビリティ研究会講演会』の3行事を関連団体と共催いたしました。また、2007年（平成19年）10月4～5日に『第11回海洋深層水利用学会全国大会～羅臼町』、2007年（平成19年）11月27日に『平成19年度日本水産工学会秋季シンポジウム』を後援いたしました。

このうち、表題の2行事について報告いたします。

2. 『北海道大学大学院水産科学研究院海洋生物資源科学部門水産総合基盤システム科学分野第2回シンポジウム』

本シンポジウムはエルプラザ（札幌市）にて約150名の御参加をいただき、「地域活性化に資する公共政策のあり方」をテーマに開催されました。北海道大学公共政策大学院院長の佐々木隆生教授によるご挨拶と講座設立の背景を公立はこだて未来大学の長野章教授からご説明をいただき、その後、表-1に示す内容でご講演及びご報告をいただきました。

表-1 講演者と講演及び報告内容

講演者	講演及び報告内容
①北海道大学公共政策大学院特任教授、(社)日本港湾協会会長 栢原 英郎 氏	講演 地域活性化に資する公共政策
②北海道大学大学院水産科学研究院海洋生物資源科学部門水産総合基盤システム科学分野客員教授、東京穀物商品取引所理事長 渡辺 好明 氏	講演 よみがえれ！ 海業、海村
③公立はこだて未来大学教授 長野 章 氏	報告 水産公共事業を通じた社会への技術還元とその評価について
④北海道大学大学院工学研究科教授 加賀屋 誠一 氏	報告 地域活性化に貢献する公共政策のあり方

講演では、21世紀は国際化、情報化、都市化がますます顕著となり、これらを含む概念として「交流」がキーワードになる、というお話をいただきました。

引き続き4名の講師の方々と、司会に北海道大学大学院水産科学研究院海洋生物資源科学部門水産総合基盤システム科学分野特任准教授古屋温美氏をお迎えして、「地域活性化に貢献する公共政策のあり方」と題してパネルディスカッションが開かれました。パネリストの先生からは、イベントは始まりであり、集まってくれた人のネットワークづくりが重



写真-1 シンポジウム（左から、加賀屋誠一氏、栢原英郎氏、渡辺好明氏、長野章氏、古屋温美氏）

要であること、富山県山田村では全世帯へパソコンを導入し大学生がその講師となって世代間の交流が進んでいること、などの興味深いお話をさせていただきました。

会場からは歯舞地域のマリビジョン取り組み状況の紹介や公共政策に関わるためには学生としてどのような能力や技術を習得すべきか、など幅の広いご意見、ご質問をいただき、パネリストの先生と活発な質疑が交わされました。

3.『平成 19 年度第 2 回講演会』

本講演会は、(独)土木研究所寒地土木研究所寒地水圏研究グループと共催で寒地土木研究所講堂において開催いたしました。本講演会は、日々要求される技術力の向上をめざして昨年から実施されており、港湾・漁港及び海洋に関わる技術者同士の交流の場として貴重な機会となっています。北方海域技術研究会大塚夏彦代表、寒地水圏研究グループ吉井厚志グループ長のご挨拶をいただき、引き続き、表-2 に示す内容でご講演をいただきました。

表-2 講演者と講演内容

講演者	講演内容
①(独)土木研究所寒地土木研究所寒地水圏研究グループ寒冷沿岸域チーム主任研究員 渥美 洋一 氏	講演 防風雪施設の整備効果と今後の展開について
②(独)土木研究所寒地土木研究所寒地水圏研究グループ水産土木チーム主任研究員 牧田 佳巳 氏	講演 遊水部付生けすケーソンにおける海水交換量の推定について
③北海道立中央水産試験場水産工学室室長 山内 繁樹 氏	講演 魚礁の機能と効果
④第 30 回ロンドン条約科学者会合日本政府代表顧問、水産庁防災漁村課海岸担当課長補佐 黒澤 馨 氏	講演 海洋環境を巡る世界的動向～ロンドン条約・議定書科学者会合における議論～

講演は寒地土木研究所の渥美氏、牧田氏のお 2 人から近年港湾漁港で施工されている施設について最新の研究内容を紹介していただき、中央水産試験場



写真-2 黒澤 馨 氏による講演状況

の山内氏からは普段なかなか触れる機会の少ない魚礁について講演していただきました。また、水産庁の黒澤氏からは廃棄物の海洋投棄禁止に関わる「ロンドン条約議定書」について講演していただきました。講演は研究から行政に関するものまで非常に幅広く、かつ興味深い内容でした。参加者からは活発な質疑が交わされ、この講演の関心の高さが感じられました。



写真-3 講演会全景

なお、今回の講演会には、技術士の方をはじめ一般の方にも参加をいただき、約 60 名の方にお集まりいただきました。お忙しいところ多数ご参加していただき、誠にありがとうございました。

(文責：北方海域技術研究会副代表 北原 繁志)